

令和7年度 大田区立蒲田中学校 自己評価 報告書

令和8年2月1日

○ 本校の概要

<p>・学校規模 生徒数255名(通常8学級、1学年83名、2学年89名、3学年71名)、(特別支援2学級、1学年7名、2学年3名、3学年2名)、日本語学級併設 <目指す学校像> ・これからの社会を担う生徒に、やり抜く力を育み、生徒・保護者・地域から信頼される学校 <目指す生徒像> ・目標に向かって努力を続け、失敗を恐れず前向きに取り組む、成し遂げる力をもった生徒 ・よりよい社会人になるために社会に貢献できる生徒の育成 ◇令和6年度重点課題【主体的に考え活動する生徒の育成】 ○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ○ICT機器を活用した授業実践 ○生徒会と共に学校ルールの見直しやボランティア活動の活性化 ・特色ある教育活動 ◇地域と連携したボランティア活動の推進◇学校ホームページ内の動画配信等による充実したオンライン学習教材 ◇放課後、土曜、試験前の補習教室(数学・英語)</p>

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄							
								評価人数	コメント						
生予個 き測別 る困目 力難標 をな1 育未成 来社 来社 会を 創 造 的 に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	2	4:	3	今年度はあやめ学級(自閉症・情緒障害特別支援学級)が開設したこともあり、そちらに重点を置いたため、STEAM教育に関する校内研修(学びの場)を設定することはできなかった。理数だけではなく、教科横断的な授業を展開し、人としての創造力を伸ばす教育を実践することが次年度以降の課題と言える。	A	9	○ボランティア活動に生徒さんが参加してくださることについて、地域としても感謝しています。今後、社会人となって進んで協力、貢献できるように成長してほしいと思います。 ○学校生活のきまりは柔軟に必要に応じて変わってきているようですが、規則のない中でその場に合った対応も学んでいるよう、まわりが示しているよう工夫しています。 ○会社の部下(20代)を見ると、そう言われてみれば創造力、課題解決の情報活用能力が低い気がします。 ○自ら考えることも大事で、校則の見直しについては、生徒の声を聞いていただける場があるのはとてもありがたいと思います。 ○「自分の考えを発表したりする活動をしたか」が92%(昨年度+20)は素晴らしい結果だと思います。日々の先生方の努力の成果だと思います。自分の考えをしっかりと伝えることは、社会に出て必須であると考えますので、引き続き取り組んでいただければと思います。 ○あやめ学級が開設されても、STEAM教育はできると思います。					
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								3	学校評価アンケート「各教科で学んだことを総合的にとらえ、課題を解決しようとしているか」に対して、84%(昨年度+11ポイント)の生徒が肯定的な回答をした。	B	2	○各ポイントUPはとも良いと思います。しかし、他の部分が表記されていないので、マイナス面を表記する点も忘れずにお願います。 ○防災訓練だけに終わらせない計画を進めてください。 ○先生方は忙しい中、あやめ学級学びの場(開設)したことによって、学校はもちろん生徒達もある面大変だろうが、日常生活に自分自身を振り返りながらも思いやりの心をもつことができる良い面があり、共に頑張っていきたいと思っている。 ○防災にも力を入れて、地域の消防団の指導によってきめ細やかに勉強している。教職員も生徒達と共有することの大切さを学んでいることに感謝しながらも、何かあったときには地域の担い手になってもらえることだと思われる。学校の評価が低いと思います。
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								4	学校評価アンケート「授業の中で自分の考えを発表したりする活動をしたか」に対して92%(昨年度+20ポイント)の生徒が肯定的な回答をした。	C	0	○学校内では、ポッチャ体験、救命講習などを実施し、学校外ではボランティア活動に取り組む、地域との関わりを重視してきた。特に、学校支援地域本部(蒲中応援団)と連携し、防災訓練を3年計画で強化させたことは大きな成果である。
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								1	学校評価アンケート「授業の中で自分の考えを発表したりする活動をしたか」に対して92%(昨年度+20ポイント)の生徒が肯定的な回答をした。	D	0	学校生活向上委員会を組織し、生徒・保護者・地域・弁護士とともに今年度も校則の見直しを実施している。学校評価アンケート「学校生活のきまりに満足しているか」に対して、87%(昨年度+10ポイント)の生徒が肯定的な回答をした。
お世個 お界別 たと目 を標 担な2 うが 人 材 を 際 育 都 成 市 し ま す	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話を増やす機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	4:	3	英語科の教員が少人数授業を実施する上で、毎時間綿密な打合せを行っている。また、今年度は区の施策のおかげでALTが常駐し、リスニングやスピーキングなどのコミュニケーション能力の育成に努めている。今年度は東京都教育委員会からも、蒲田中の取組について生徒・教員から聞き取りがあったほどである。学校評価アンケート「英語の授業でALTの先生との授業でコミュニケーションを図ることができたか」に対して、89%(昨年度-1ポイント)の生徒が肯定的な回答をした。また、3年生の英検3級以上取得率は63%(昨年度+18ポイント)と大幅に上昇した。	A	8	○グローバル化している中で英語に長けていることは自信につながると思います。蒲田中が都の教育委員会からも注目されたことは、もつと広く知らせてほしいです。 ○いじめを「いじめである」という認識を誰ももたなければならぬ。 ○視野を広く、多面的にものごとを見られる大人になってほしいと思います。そのために大切な授業をいつもありがとございます。 ○いじめ撲滅の件、いろいろ意見があるのは承知で、防犯カメラの設置や警察からの指導等、そろそろ考えても良いのでは、 ○学校内もきれいで、落ち着いたように感じます。 ○英語教育が充実しているのはとても素晴らしいですね。外国の方の人口も増えているので、自国はもちろん他国にも関心をもつと将来に向けての視野が広がると思います。 ○目に見えないことは気付きやすいですが、SNS利用など見えないところでの攻撃が一番深刻ですね。子ども達の小さな変化に少しでも気付く、家庭での様子などもかなり大きなイベントになると感じます。 ○ALTの常駐等、英語教育強化の取組が3年生の英検取得率につながったのではと思います。世界で活躍できる人間に育つため、引き続き英語教育に力を入れていただきたいです。 ○評価は背伸びせず行われていると思います。前年度との比較も行って向上点を確認している点もよいと思います。 ○これからの時代は外国語が時代と共に重要な役割になると思われる。先生方も力を入れてくださっている様子が、少人数で実施したりして工夫されている様子がよくわかる。ここでも学校の評価は低いと思われず。 ○いじめ等はどんなに先生方が細かく配りしてくださってもあるとすれば、非常に残念であるが常に認知できるように見守りに力を注いでくださっている姿に感謝しております。					
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								2	人権教育について、学校全体でいじめ撲滅に全力で取り組んでいる。いじめを速やかに認知するため、休み時間等の校内巡視や生徒との触れ合いを学校全体として取り組んでいる。学校評価アンケート「本校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいるか」に対して、88%(昨年度+2%)の生徒が肯定的な回答をした。	B	3	○英語教育が充実しているのはとても素晴らしいです。外国の方の人口も増えているので、自国はもちろん他国にも関心をもつと将来に向けての視野が広がると思います。 ○目に見えないことは気付きやすいですが、SNS利用など見えないところでの攻撃が一番深刻ですね。子ども達の小さな変化に少しでも気付く、家庭での様子などもかなり大きなイベントになると感じます。 ○ALTの常駐等、英語教育強化の取組が3年生の英検取得率につながったのではと思います。世界で活躍できる人間に育つため、引き続き英語教育に力を入れていただきたいです。 ○評価は背伸びせず行われていると思います。前年度との比較も行って向上点を確認している点もよいと思います。 ○これからの時代は外国語が時代と共に重要な役割になると思われる。先生方も力を入れてくださっている様子が、少人数で実施したりして工夫されている様子がよくわかる。ここでも学校の評価は低いと思われず。 ○いじめ等はどんなに先生方が細かく配りしてくださってもあるとすれば、非常に残念であるが常に認知できるように見守りに力を注いでくださっている姿に感謝しております。
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								3	学校評価アンケート「英語の授業でALTの先生との授業でコミュニケーションを図ることができたか」に対して、89%(昨年度-1ポイント)の生徒が肯定的な回答をした。また、3年生の英検3級以上取得率は63%(昨年度+18ポイント)と大幅に上昇した。	C	0	人権教育について、学校全体でいじめ撲滅に全力で取り組んでいる。いじめを速やかに認知するため、休み時間等の校内巡視や生徒との触れ合いを学校全体として取り組んでいる。学校評価アンケート「本校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいるか」に対して、88%(昨年度+2%)の生徒が肯定的な回答をした。
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								1	学校評価アンケート「英語の授業でALTの先生との授業でコミュニケーションを図ることができたか」に対して、89%(昨年度-1ポイント)の生徒が肯定的な回答をした。また、3年生の英検3級以上取得率は63%(昨年度+18ポイント)と大幅に上昇した。	D	0	人権教育について、学校全体でいじめ撲滅に全力で取り組んでいる。いじめを速やかに認知するため、休み時間等の校内巡視や生徒との触れ合いを学校全体として取り組んでいる。学校評価アンケート「本校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいるか」に対して、88%(昨年度+2%)の生徒が肯定的な回答をした。
た一個 め人別 の目 基と標 礎り3 が な る 性 力と を能 力 成 を し 発 揮 す る	児童・生徒が豊かな人生を生き抜く上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	4:	3	特別の教科道徳の授業では、議論を活発に行い、ICT機器(タブレット等)を活用しながら生徒に深く考えさせ、意見を全体で共有するなど、一人一人の心に響く授業を目指している。学校評価アンケート「道徳の授業は充実しているか」に対して、86%(昨年度-2ポイント)の生徒が肯定的な回答をした。	A	9	○養士さん達による日々の努力、工夫をありがたく思います。あらゆる面で一流のものに触れさせてあげられる環境づくりは、大人の役目だと思います。 ○昼休みに校内巡視など大変か。先生たちの労働環境も大切にしていきたいです。 ○息子が小学生だった頃、中学校の部活動体験がとても楽しかったのをよく覚えています。私立、区域外など選択肢がある中で「あの楽しそうな蒲田中に行きたい」と思ってもらえたら嬉しいです。 ○生きていく上で基礎となる力は幼児期から始まっているので、各所と連携をとった取組は素晴らしいと思います。 ○講師招聘による研修等、外部の知見を取り入れることは授業の質の向上に役立つと思うので、今後も積極的に取り入れてほしいです。 ○給食がおいしいということは、学校に行くのが楽しみになる1つの要素だと思います。 ○学習態度が「4」と評価していますが、高過ぎませんか？4を記すのであれば学力向上度合を示さなければ証明できません。評価は謙虚でよいと思います。 ○情報共有は大切ですが、何の情報共有しているかが記されていないので、評価に結びつけられないです。、、、 ○道徳に対しても先生方は力を入れて教育してくださっている。生徒が86%と答えたことは素晴らしいと思います。先生は勉強についての質問や疑問に対して95%の生徒が評価している(素晴らしい)。					
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								4	また、道徳授業地区公開講座や大学教授レベルの講師を招聘しての校内研修を行うなど、日々の授業改善に取り組んでいる。生徒の確かな学力の定着を図るため、教材研究や授業改善は教員にとり必須である。学校評価アンケート「先生は勉強についての質問や疑問について丁寧に回答しているか」に対して、95%(昨年度-2ポイント)の生徒が肯定的な回答をした。	B	2	食育については、早寝早起き朝ごはんの啓蒙、保健給食委員会(生徒)による様々なキャンペーン、栄養士による指導等幅広く実践している。学校評価アンケート「本校の給食は工夫されているか」に対して、97%(昨年度+4ポイント)の生徒が肯定的な回答をした。
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								3	学校評価アンケート「先生は勉強についての質問や疑問について丁寧に回答しているか」に対して、95%(昨年度-2ポイント)の生徒が肯定的な回答をした。	C	0	早寝早起きは家庭での責任、給食は97%おいしくいただいている様子が驚いているが、これはとても栄養士さん方の工夫等に感謝です。 ○先生方は日常的に情報共有、素晴らしいことと思われる。
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								1	学校評価アンケート「先生は勉強についての質問や疑問について丁寧に回答しているか」に対して、95%(昨年度-2ポイント)の生徒が肯定的な回答をした。	D	0	小中一貫の日だけでなく、日常的に小学校と情報を共有しながら生徒指導に当たっている。

学 校 別 力 標 教 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上させます。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	4:	外部講師を招聘して、年に3回校内研修を実施した。教員の授業力の向上を目的に指導・助言をいただいた。「誰一人取り残さない」ことを目標に、個別最適な学びと協働的な学びを意識した授業改善に向けて取り組んでいる。教育委員会による指導訪問では、ICT機器の効果的な活用も含め指導をいただいた。 学校評価アンケート「授業は分かりやすく丁寧だと思うか」に対して92%（昨年度±0ポイント）の生徒が肯定的な回答をした。 本校は若手の教員が多いが、授業力の向上に向けて日々努力をしている。学校公開の保護者アンケートでは、「分かりやすい」、「面白い」、「やさしく親しみやすい」、「熱心」などの高評価をいただいている。主任教諭もたくさん転入してきたため、今後も意図的・計画的にOJTをすすめ、教員の人材育成に努めていきたい。 残念ながら熱心なために、働き方改革は進んでいない。大きな課題である。	A	7	○先生方の工夫・改善・努力に頭が下がります。一方、生徒にはそれが思うように伝わらないことも事実です。人材育成も若い先生とベテランの先生に格差があり、ご苦労を感じます。 ○部活動の外部（地域）委託等、積極的に進めてほしいです。 ○働き方改革について、先生方が自ら熱心に取り組んだ結果、勤務時間が延びるのは仕方ないことかと思えます。頑張った成果を出したことを正しく評価されるのが大切と感じます。 ○OJTによるスキルアップは現代的育成です。若手教員の皆さんが1歩でもスキルアップして、生徒への学びに結びつくうれしそうです。学校内OJTを飛び越えて、区内OJT、都内OJTと進むとよいですね。 ○常に教室に先生がいてくださる環境がありたいです。 ○生徒1人1人に対して先生方は真剣に取り組んでいる姿にいつも感謝の気持ちでおります。先生方の評価はもっと自信をもってくださっていいのではと思います。
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特徴を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	3:				
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。	3	2:				
					1:				
た 自 個 め 分 別 の 目 学 し 標 び く 5 を い 支 き 援 い き ま と す 生 き る	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えらるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	4:	本校では校内委員会や不登校対策委員会を積極的に開催している。登校支援コーディネーターや不登校対応巡回教員も交えて会議を行い、生徒の情報を共有しながら、対応策を検討している。 別室登校も整備され、その運営は順調に進んでいる。一方で不登校生徒の出現率が多いのは、本校の大きな課題である。 休み時間はすべての教員が校内を温かく見守り、生徒が安心して学校生活を送ることができるように取り組んでいる。いじめの早期発見・未然防止に努めるとともに、学級集団調査(WebQU)を活用し、面談を実施するなど、生徒の不安を解消するよう、教職員一丸となって取り組んでいる。 学校評価アンケート「学校生活は楽しいか」に対して、94%（昨年度-1ポイント）の生徒が肯定的な回答をした。	A	7	○いじめや不登校の問題は小学校から増えています。まわりのアドバイスも生徒さん一人一人に対応が違うと思うので、日々よく見てあげられることも大切。先生方もお一人抱えず、教職員の皆さんに周知して取り組まれていることと思います。 ○不登校の理由は人それぞれなので、その子に合った繊細な寄り添いが必要なのではと思うので、相談しやすい環境や連携がありたいです。 ○（不登校について）取り巻く環境の変化が大きく関わっているのかもしれない。特にSNSの影響は大きいかと、、、 ○「学校生活が楽しい」94%が肯定的でも不登校増加、、、不登校の生徒からの回答なしでしたらわかりますが、、、 ○不登校は非常に難しい問題ですが、別室登校も整備されたこと。引き続き環境整備に取り組んでください。 ○学校生活が楽しいかとアンケートをとってマイナスが出たことと、不登校生と増加の因果関係を調査するのよと思います。 ○②が評価4で、不登校生徒が増えているとは思いますが、 ○働き方改革はなかなか大きな課題であると思うが、それだけ生徒たちに時間を使って頂けたらと思う気持ちがあつたります。 ○別室にも登校できない子もいる。その親子がどうしたら良いか不安を抱えている。 ○校内委員会で先生方が対応策について、どうしたら生徒にとっていいのかを情報共有している姿が見えて、別室登校にも気配りがあり大変神経を使ってくたさっている。学校生活は楽しいとの問いに94%、素晴らしいと思います。
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。	4	3:				
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	2:				
					1:				
安 柔 個 心 軟 別 な で 目 教 創 標 育 造 6 環 的 境 な を 学 習 く 空 り ま と す 安 全	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	4:	「地域とともにある学校」という視点で、生徒・教職員ともにつながりをとて大切にしている。地域行事やボランティア活動等、学校も通じて積極的に呼びかけている。 生徒の意識は高くなっていると感じるが、学校評価アンケート「地域行事やボランティア活動に積極的に参加していると思うか」に対して、36%（昨年度-12ポイント）が肯定的な回答をした。生徒のボランティアは一部の生徒に偏りがちであることが課題と言える。 毎月の避難訓練や安全指導を計画的に実施している。地震、火災、津波、不審者対応、Jアラートなど様々な想定で実施している。	A	6	○災害時に中学生は自助・公助を求められていることを確認し、まわりに進んで協力し援助できる行動をお願いしたいです。 ○ボランティア活動が本当の意味で（ポイントをなくした時）ボランティアになった時の生徒の参加率はどれくらいなんでしょうかと、たまに意地悪なことを考えます(笑)が、、それがきっかけで新しい価値観を見つたり、自分の価値を再確認したり、対応力やリーダーシップを育むことができれば、素晴らしいことだと思います。 ○ボランティアの生徒さんが積極的に動いていただきたありがたいです。 ○純粋なボランティア精神で取り組む子が大半だと思いたいですが、受検の際のPRRのために参加する子も一定数いますね。それに週末は習い事など予定のある子が多いから、、、との声をよく聞きます。 ○こちら（私たち）もボランティア募集について工夫し、多くの方が興味をもつよう努めています。 ○取組評価と成果評価、コメントに差異が感じられます。高評価を示していますが、実際は行っていないと記しているのよくないと思います。 ○生徒ボランティアは、参加した生徒がまた友人を誘って参加したりと一部生徒に偏りがちはあるが、メンバーの変化もあったとPTAで差し入れをする際に感じました。 ○部活動によっては、興味があったり募集したい気持ちがあっても日程によってはできないので、学校から募集するボランティアができるものが増えたいよ。 ○「もう少しボランティアがあります」というアピールがあったら良いかと、、 ○地域の活動等に青少年、連合活動等に対してすぐ協力的に接して下さっている姿に、地域としても中学生ともなればすごいと感じながら頼りにさせて頂いております。いつも感謝しています。
		②避難訓練や安全指導などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	3:				
					2:				
					1:				
学 地 学 校 域 校 別 を コ ・ 目 つ ミ 家 標 ク ユ 庭 7 リ ニ ・ ま テ 地 す イ 域 の 核 連 と 携 し て 協 働 に よ る	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体でこどもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	4:	特に今年度は、防災訓練で3年計画を見通して、放水体験を新たに追加した。消防署、消防団、蒲中応援団等と連携しながら実施することができた。救命講習も例年通り実施を予定している。 運動会や学習発表会等の諸行事において、PTAをはじめ蒲中応援団、地域の方々にも受付、見回り、熱中症対策など、様々な形で支援をいただいていた。これからも地域に愛される学校を目指して取り組んでいきたい。 生徒の健全育成や見守り（安全指導）を目的に、毎週末曜日に「あいさつ運動」を生徒と蒲栄会の方々が一緒に実施している。とても良い取組であるため、今後も継続していきたい。祭礼ハトリをPTAとともに実施することができた。 学校だより等をホームページに掲載し、情報を発信しているが、更新の頻度は今後の課題と言える。	A	8	○あいさつ運動が復活し生徒さんと一緒にさせていただいていますが、毎年あいさつ運動の目的をきちんと生徒さん、保護者の方に説明していただくようお願いしています。保護者の方のご協力も必要です。先生方もかなり変わってききましたが、元気に活動される方に生徒さんがよってくるし、それぞれに声をかけていて最高です。わずかな時間ですが元気がなり、明るく一日が過ぎます。 ○ホームページを含め、Web発信は若い保護者世代等、今後興味をもてるような工夫ができるよと思っています。 ○学校行事やイベントで地域の協力をを感じるが、間接的な場面が多いので、さらに直接的に交流がある生徒に刺激になると思う。 ○蒲栄会のお二人と毎週（木）のあいさつ運動に参加した際は、生活委員の生徒と交流ができて、小さな地域のつながりを感じた。 ○PTA活動についても、ここで検討してほしい。PTAの存続の危機を知ってもらいたい。 ○普段はなかなか顔を合わすことのない大人の方々に、あいさつ運動、運動会、学習発表会などの大きな行事を通して、見える形で支えてもらっていることは、子ども達にとっても良い記憶になると思う。 ○保護者を当番制にしてはどうか、、、 ○運動会、学習発表会等、必ず声をかけてください、いつも連絡くださるのを楽しみにしており、出席させて頂いております。地域の祭りなどにはPTA、先生方が見守りしてくださっているのよ、いつも生徒達は見守られていると感謝しております。 ○校長先生、副校長先生、また教職員が熱心に生徒に寄り添ってくださることに、あたたかい気持ちと感謝の心で受け合わせて頂いております。（全体的に、学校の自己評価低すぎです）
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	3:				
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなど連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	2:				
					1:				

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す